

新旧対照表

IV-1	重点プロジェクト	1 ~ 5
IV-3	基本戦略別の個別施策	6 ~ 16

IV-1 重点プロジェクト

1 農林水産3分野の「サイエンスゾーン」による本県農林水産業の成長産業化
～農林水産業の成長産業化に向け人材育成と技術革新を加速します～

「アグリ」、「フォレスト」、「マリン」の各サイエンスゾーン*におけるオープンイノベーションを推進し、産学官の連携による次代を担う農林漁業人材の育成や最先端技術を活用した研究・実証に取り組み、農林水産3分野における「サイエンスゾーン」の相乗効果を発揮することにより、本県農林水産業の成長産業化を加速します。

主な取組

【次代を担う人材の育成】

- 「アグリ・サイエンスゾーン*」では、徳島大学や民間事業者等と連携し、IoT、AIなど最先端技術を活用したスマート農業や6次産業化などに取り組む実践力の高い人材を育成します。
また、「アグリビジネススクール」において、県内外から受講者を募り、生産・経営の両面の技術習得を支援し、高度技術を有する人材を育成します。
- 「フォレスト・サイエンスゾーン*」では、徳島大学、鳴門教育大学、県建築士会、徳島森林づくり推進機構と連携し、県産材の良さを活かせる「木造建築学校*」等による実践力の高い人材を育成します。
また、「とくしま林業アカデミー*」において、県内外から就業希望者を募り、林業の基礎知識と実践的な技術習得を支援し、現場の即戦力となる人材を育成します。
- 「マリン・サイエンスゾーン*」では、徳島大学、阿南工業高等専門学校、徳島文理大学、四国大学と連携し、地域や水産業を支える6次産業化人材を育成します。
また、「とくしま漁業アカデミー*」において、浜を支える担い手を養成し、漁業就業者の確保を図るとともに、漁協女性部を中心として、本県漁業や県産水産物の魅力発信を担う人材を養成します。

- 「とくしま農林水産未来人材スクール」を開設し、農林水産業の魅力発信や各アカデミーでのリカレント教育の充実を通じて、次代を担う人材育成を推進します。

【新たなイノベーションの創出】

- 高等教育機関や民間企業等と連携し、農林水産3分野の「サイエンスゾーン*」を拠点としたオープンイノベーションの推進による、高品質・安定生産技術の開発、機能性の解明や、6次産業化等に向けた「新たな価値創出」につながる研究開発を加速します。
具体的には、
 - ・大規模園芸施設を用いた高度環境制御*の研究・実証
 - ・機能性成分を活かした香酸カンキツ等加工特性の解明
 - ・DNA情報を活用した阿波とん豚の生産性改良技術の開発
 - ・スギ大径材を活用した2×4工法部材利用技術の開発
 - ・IoT・AIなど最先端技術を活用したリアルタイム水質情報発信・予測システムの開発
 - ・藻類など陸上養殖技術の開発

IV-1 重点プロジェクト

1 農林水産3分野の「サイエンスゾーン」による本県農林水産業の成長産業化
～農林水産業の成長産業化に向け人材育成と技術革新を加速します～

「アグリ」、「フォレスト」、「マリン」の各サイエンスゾーン*におけるオープンイノベーションを推進し、産学官の連携による次代を担う農林漁業人材の育成や最先端技術を活用した研究・実証に取り組み、農林水産3分野における「サイエンスゾーン」の相乗効果を発揮することにより、本県農林水産業の成長産業化を加速します。

主な取組

【次代を担う人材の育成】

- 「アグリ・サイエンスゾーン*」では、徳島大学や民間事業者等と連携し、ICT*を活用した高度環境制御技術*を用いた次世代型農業や6次産業化を担う実践的能力の高い農業人材を育成します。
- 「フォレスト・サイエンスゾーン*」では、徳島大学、鳴門教育大学、県建築士会、徳島森林づくり推進機構と連携し、県産材の良さを活かせる「木造建築学校*」等による実践的能力の高い林業人材を育成します。
- 「マリン・サイエンスゾーン*」では、徳島大学、阿南工業高等専門学校と連携し、地域や水産業を支える6次産業化人材を育成します。
○ 「とくしま林業アカデミー*」では、県内外から就業希望者を募り、林業の基礎知識と実践的な技術を教え、1年間で現場の即戦力となる人材を育成します。
○ 「とくしま漁業アカデミー*」では、浜を支える担い手を養成し、漁業就業者の確保を図るとともに、漁協女性部を中心として、本県漁業や県産水産物の魅力発信を担う人材を養成します。

【新たなイノベーションの創出】

- 高等教育機関や民間企業との連携に加え、企業や研究者の参画を促進し、農林水産3分野の「サイエンスゾーン*」を拠点としたオープンイノベーションの推進による、高品質・高機能化技術の開発や、6次産業化に向けた「新たな価値創出」につながる研究開発を加速します。
具体的には、
 - ・大規模園芸施設を用いた高度環境制御*の研究・実証
 - ・ゲノム情報を活用した新品種、機能性成分に着目した新商 品の研究開発
 - ・木材新素材を活かした新分野での利用技術の開発
 - ・本県の特許「不燃化木材*」による都市空間の木質化
 - ・高度情報処理技術を活用した、効率的な藻場*情報の解析や高水温化による影響調査の実施手法の開発
 - ・ドローンを活用した海洋調査技術の陸上への応用

などに取り組みます。

2 「地域商社・阿波ふうど」の本格展開と産地リノベーションの強化

～販売力強化に向けて生産振興・流通改善・販売促進に一体的に取り組みます

県産農林水産物の生産・流通・販売を強力にサポートする「地域商社・阿波ふうど*」を核とし、市場ニーズに対応できるマーケットイン型*の産地づくりを進めるとともに、ブランド品目の産地リノベーションを図るため、品目ごとに「課題解決プログラム」を策定し、産地体制のさらなる強化を図ります。

主な取組

【マーケットイン型の産地づくり】

○ 全国のバイヤーやオーナーシェフからの「ニーズ」に迅速に対応できる産地づくりに取り組みます。

【効果的な流通販売システムづくり】

○ 産地間連携による物流の効率化や、「こだわり農産物」など高級百貨店への販売など新たな販路開拓に取り組みます。

【体質の強いブランド産地づくり】

○ 品目ごとの「課題解決プログラム」を策定し、産地リノベーションに向けた施策を集中することで、ブランド産地の体質を強化し、地域商社・阿波ふうど*の活動展開と併せて、「もうかる農業」の実現に一体的に取り組みます。

3 「Turn Table」による情報発信

～首都圏から世界に向けて徳島の魅力・新しい価値を発信します～

首都圏における新たな「情報発信」と「交流」の拠点として、東京都渋谷区に開設した「Turn Table」において、従来のアンテナショップとは一線を画した「体験や交流」による「モノからヒト」に軸足を移した革新的な取組みにより、「徳島の魅力」「新たな価値」を効果的に発信します。

主な取組

【県産品の販路拡大】

○ 飲食、物販機能で徳島の食材を提供し、首都圏での県産品の認知度向上と販路拡大を図ります。

【「徳島ファン」の拡大】【「とくしま回帰」への流れ】

○ 世界的に注目が高まる奥渋谷において、徳島をテーマとした多彩なイベントを定期的を開催することで、効果的に「徳島ファン」の拡大につなげます。

○ 宿泊機能で情報と接する時間を十分に確保した上で、体験や交流を通じ、徳島の「魅力」や「価値」を発見していただきます。

4 「スマート林業プロジェクト」の推進

～県産材の増産・加工体制強化・利用促進を効率的に展開します～

路網の整備や先進林業機械*の導入、原木の流通加工体制の強化、国内外への販路拡大など川上から川下までの対策を一体的に進め、林業の成長産業化を図り、森林・林業を核とした地方創生の実現を目指します。

主な取組

・植物の育種技術の藻類への応用

などに取り組みます。

2 「地域商社・阿波ふうど」の本格展開と産地リノベーションの強化

～販売力強化に向けて生産振興・流通改善・販売促進に一体的に取り組みます

県産農林水産物の生産・流通・販売を強力にサポートする「地域商社・阿波ふうど*」を核とし、市場ニーズに対応できるマーケットイン型*の産地づくりを進めるとともに、ブランド品目の産地リノベーションを図るため、品目ごとに「課題解決プログラム」を策定し、産地体制のさらなる強化を図ります。

主な取組

【マーケットイン型の産地づくり】

○ 全国のバイヤーやオーナーシェフからの「ニーズ」に迅速に対応できる産地づくりに取り組みます。

【効果的な流通販売システムづくり】

○ 産地間連携による物流の効率化や、「こだわり農産物」など高級百貨店への販売など新たな販路開拓に取り組みます。

【体質の強いブランド産地づくり】

○ 品目ごとの「課題解決プログラム」を策定し、産地リノベーションに向けた施策を集中することで、ブランド産地の体質を強化し、地域商社・阿波ふうど*の活動展開と併せて、「もうかる農業」の実現に一体的に取り組みます。

3 「Turn Table（とくしまブランドギャラリー）」の開設

～首都圏から世界に向けて徳島の魅力・新しい価値を発信します～

首都圏における新たな「情報発信」と「交流」の拠点として、飲食・物販機能に宿泊機能を備えた施設を東京都渋谷区に開設し、従来のアンテナショップとは一線を画した「体験や交流」による「モノからヒト」に軸足を移した革新的な取組みにより、「徳島の魅力」「新たな価値」を効果的に発信します。

主な取組

【県産品の販路拡大】

○ 飲食、物販機能で徳島の食材を提供し、首都圏での県産品の認知度向上と販路拡大を図ります。

【「徳島ファン」の拡大】【「とくしま回帰」への流れ】

○ 世界的に注目が高まる奥渋谷において、絶えず話題性の高いイベント等を開催することで、広く国内外から情報発信力の高いインフルエンサー等を引き寄せ、効果的に「徳島ファン」の拡大につなげます。

○ 宿泊機能で情報と接する時間を十分に確保した上で、体験や交流を通じ、徳島の「魅力」や「価値」を発見していただきます。

4 「新次元林業プロジェクト」の推進

～県産材の増産・加工体制強化・利用促進を新たな次元で展開します～

路網の整備や先進林業機械*の導入、原木の流通加工体制の強化、国内外への販路拡大など川上から川下までの対策を一体的に進め、林業の成長産業化を図り、森林・林業を核とした地方創生の実現を目指します。

主な取組

【県産材の増産】

- 主伐を推進し、先進林業機械や新たな林業生産システムを導入し、生産性を大幅に向上させます。
- 林業アカデミー*をはじめ、新たな担い手の確保・育成や林業従事者の技術力アップを推進します。
- ICT等を活用した、効率的な施業計画策定と現場での労働負担の軽減を図ります。

【加工体制の充実】

- 木材産業の加工体制を充実させ、「徳島すぎブランド」の強化に向けた高品質な製品づくりを推進します。
- サプライチェーンの構築による低コスト化や物流体制の強化を図ります。

【需要の拡大と木育の推進】

- 国内外で県産材利用促進活動を強化し、世界に向けて「徳島すぎ」の魅力を発信します。
- 「県版木育サミット」の毎年開催や木育拠点施設を開設するなど、更なる木育活動を進めます。

5 「水産創生ビジョン（第2期）」の推進

～水産資源の増大とマーケティングを意識した産地づくりに取り組みます～

水産資源の持続的利用を図るための「増産対策」や、自然条件や社会情勢の変化を的確に捉えた産地力の強化など、「水産業の成長産業化の実感」に向けた取組みを加速させます。

主な取組

【広域浜プランの推進】

- 漁業協同組合が広域的に連携し、事業統合や施設の有効利用等を目指す「浜の活力再生広域プラン（広域浜プラン*）」の策定と、その実現を推進します。

【水産資源の持続的な利用の推進】

- 重要な水産資源の持続的な利用を図るため、県有種苗生産施設において、高品質な種苗生産を行うなど、栽培漁業や資源管理型漁業の取組みを推進します。

【気候変動に対する適応戦略の推進】

- 大学などの高等教育機関や民間企業等と連携し、気候変動に適応した新品種の開発などに取り組みます。また、人為的な環境管理が可能な「陸上施設」を活用した養殖技術を確立するための研究を推進します。

6 「攻めの輸出戦略」を推進

～アジア・欧米をターゲットとした農林水産物の輸出を強化します～

「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」に基づき、「アジア」と「欧米」を基軸に、品目を絞り込んだプロモーションを実施し、海外市場での本県産農林水産物のシェア拡大を図るとともに、輸出に取り組む事業者の発掘と育成に努めます。

主な取組

【アジア市場への輸出拡大支援】

- 本県の強みである「なると金時」・「コメ」・「阿波尾鶏」・「牛肉」を中心に、販売ルートの強化を図り、生産者と事業者の海外展開を支援します。

【欧米市場への輸出拡大支援】

- 他県に先行する「かんきつ類」について、スイーツをはじめ新たな需要の開拓を進め、「青果」に加え

【県産材の増産】

- 主伐を推進し、先進林業機械や新たな林業生産システムを導入し、生産性を大幅に向上させます。
- 林業アカデミー*をはじめ、新たな担い手の確保・育成や林業従事者の技術力アップを推進します。

【加工体制の充実】

- 増産に対応した「まるごと利用」の加工体制の充実や原木 流通体制の構築を図ります。

【需要の拡大と木育の推進】

- 国内外で県産材利用促進活動を強化し、「徳島すぎ」の魅力の世界に発信します。
- 「すぎの子木育広場*」や「木造建築学校*」を設置し、県民それぞれのニーズに応じた木育活動を進めます。

5 「水産創生ビジョン」の実現に向けた取組み

～水産資源の増大と競争力の高い産地づくりに取り組みます～

水産資源の持続的利用を図るための「増産対策」や、漁業経営の「安定化対策」を推進するなど、漁業者が未来に明るい希望を持てるよう、「もうかる漁業」の実現に向けた取組みを加速させます。

【広域浜プランの推進】

- 漁業協同組合が広域的に連携し、事業統合や施設の有効利用等を目指す「浜の活力再生広域プラン（広域浜プラン*）」の策定と、その実現を推進します。

【アワビの漁獲アップ】

- 生残率の高い大型のアワビ稚貝量産体制の確立や、最新技術を活用した産学官連携による新たな漁場造成に対する支援など、アワビ増産に取り組みます。

【中層型浮魚礁の設置】

- 黒潮に乗って来遊するカツオ・マグロ類を滞留させ効果的に漁獲できる「中層型浮魚礁*」を海部沖合へ設置します

6 「攻めの輸出戦略」を推進

～アジア・欧米をターゲットとした農林水産物の輸出を強化します～

「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」に基づき、「アジア」と「欧米」を基軸に、品目を絞り込んだプロモーションを実施し、海外市場での本県産農林水産物のシェア拡大を図ります。

主な取組

【アジア市場への輸出拡大支援】

- 本県の強みである「なると金時」・「コメ」・「阿波尾鶏」を中心に、販売ルートの強化を図り、生産者と事業者の海外展開を支援します。

【欧米市場への輸出拡大支援】

- 他県に先行する「かんきつ類」について、スイーツをはじめ新たな需要の開拓を進め、「青果」に加えて

て「加工品」の輸出拡大を図ります。また、「花き」の輸出に取り組むプレーヤーを育成し、欧米への輸出拡大を支援します。

【ハラール市場の開拓支援】

- ハラール先進県として、「ハラール認証*」の取得など体制整備を支援し、東南アジアや中東等におけるムスリム市場*の販路開拓・拡大に取り組みます。

7 東京オリンピック・パラリンピックへの対応

～本県が誇る農林水産品や農山漁村の魅力を戦略的に発信します～

東京オリンピック・パラリンピックを契機として、安全・安心で持続可能性の高い「エシカル農産物」をはじめとする本県農林水産業の魅力を戦略的に発信し、増大するインバウンド需要の取り込みや、さらなる輸出の促進等を目指します。

主な取組

【オリパラを契機とした「エシカル農産物」生産支援】

- 地域商社「阿波ふうど*」を活用した産地の強化に取り組みます。
- フォーラムや研修会を開催し、国際水準GAP*の取得拡大に取り組み、世界に通用する産地を育成します。

【とくしま藍の活用】

- とくしま藍を活用した新商品開発や「食藍*」を推進するとともに、藍の生産・利用拡大に取り組みます。

【県産材製品の常設展示】

- 首都圏のオフィスや店舗において、県産材の内装や家具を常設展示し、県産材製品の魅力を発信します。

8 強い農業農村を支える基盤の整備

～収益性の高い農業経営の実現と農村の防災・減災力の強化に取り組みます～

「農業の競争力強化」や「農村地域の県土強靱化」に資する基盤整備と、「大規模災害からの復旧と早期の営農再開」への備えにより、「持続可能な農業・農村」の実現に向け取り組みます。

主な取組

【もうかる農業の実現に向けた基盤整備の推進】

- 農産物の高付加価値化や、経営規模拡大に向けた国営総合農地防災事業及び関連事業、中山間地域におけるきめ細やかな基盤整備を推進します。
- ICT水管理省力化や、自動走行農機具等の「スマート農業」の導入・利用に対応した農地整備を推進します。

- 市場のニーズや新たな営農体系に適合した農業水利施設の老朽化対策を推進します。

【農村地域の県土強靱化対策の推進】

- 地すべりによる土砂災害の未然防止や、ハード、ソフトの両面から、ため池をはじめとする農業用施設の防災・減災対策を推進します。
- 地震発災後の営農再開に向けた農業版BCP*の実効性の向上に努めるとともに、復旧復興の迅速化に資する地籍調査を推進します。

9 「中山間地域」を支える農業生産活動への支援や鳥獣被害対策の推進

「加工品」の輸出拡大を図ります。また、「花き」の輸出に取り組むプレーヤーを育成し、欧米への輸出拡大を支援します。

【ハラール市場の開拓支援】

- ハラール先進県として、「ハラール認証*」の取得など体制整備を支援し、東南アジアや中東等におけるムスリム市場*の販路開拓・拡大に取り組みます。

7 東京オリンピック・パラリンピックへの対応

～本県が誇る農林水産品や農山漁村の魅力を戦略的に発信します～

東京オリンピック・パラリンピックを契機として、安全・安心で高品質な「こだわり農産物」をはじめとする本県農林水産業の魅力を戦略的に発信し、増大するインバウンド需要の取り込みや、さらなる輸出の促進等を目指します。

【オリパラを契機とした「こだわり農産物」生産支援】

- こだわり農産物生産者の組織化支援や地域商社「阿波ふうど*」を活用した産地の強化に取り組みます。
- 研修会の実施や残留農薬分析に係る支援を実施し、高次GAP*の取得拡大に取り組みます。

【とくしま藍の活用】

- とくしま藍を活用した新商品開発や「食藍*」を推進するとともに、藍の生産・利用拡大に取り組みます。

【県産材製品の常設展示】

- 首都圏のオフィスや店舗において、県産材の内装や家具を常設展示し、県産材製品の魅力を発信します。

8 強い農業農村を支える基盤の整備

～収益性の高い農業経営の実現と農村の防災・減災力の強化に取り組みます～

「農業の競争力強化」や「農村地域の県土強靱化」に資する基盤整備と、「大規模災害からの復旧と早期の営農再開」への備えにより、「持続可能な農業・農村」の実現に向け取り組みます。

主な取組

【もうかる農業の実現に向けた基盤整備の推進】

- 農産物の高付加価値化や、経営規模拡大に向けた国営総合農地防災事業及び関連事業、中山間地域におけるきめ細やかな基盤整備を推進します。
- 市場のニーズや新たな営農体系に適合した農業水利施設の老朽化対策を推進します。

【農村地域の県土強靱化対策の推進】

- 地すべりによる土砂災害の未然防止や、ハード、ソフトの両面から、ため池をはじめとする農業用施設の防災・減災対策を推進します。
- 地震発災後の営農再開に向けた農業版BCP*の実効性の向上に努めるとともに、復旧復興の迅速化に資する地籍調査を推進します。

9 「中山間地域」を支える農業生産活動への支援や鳥獣被害対策の推進

～集落ぐるみでの対策を支援し、地域の活力を取り戻します～

農業生産活動の維持や耕作放棄地の解消につなげるため、地域で協働する取組みを支援することで、農業・農村の多面的機能*の確保、地域の活性化につなげます。また、野生鳥獣の被害対策として「防護」「捕獲」「利活用」及び「担い手づくり」を一体的に進め、農作物被害の軽減を図ります。

主な取組

【地域農業の持続・発展への取組】

- 日本型直接支払制度*を活用し、共同活動、中山間地域等での農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動による農業・農村の多面的機能の発揮に向けた取組みを着実に進めるとともに、不利な生産条件の格差是正を図ります。

【集落ぐるみでの防護と捕獲の一体的推進】

- 侵入防止柵の整備とともに、集落自ら保守点検や環境整備ができる「被害ゼロ集落」の育成を進めます。
- 有害鳥獣の捕獲活動経費や捕獲機材の導入を支援するとともに、住民と駆除班の協働体制の整備に努めます。

【捕獲鳥獣の利活用】

- 捕獲鳥獣を「阿波地美栄*」として利活用することで、有害鳥獣の捕獲を推進し、農作物被害の軽減を図ります。

【担い手の育成】

- 捕獲の担い手、防護対策のリーダーを育成します。

～集落ぐるみでの対策を支援し、地域の活力を取り戻します～

農業の生産活動と地域で協働する取組みを支援することで、農業・農村の多面的機能*の発揮の推進を図るとともに、集落住民が主体となり、野生鳥獣の被害対策として「防護」「捕獲」「担い手づくり」等を一体的に進め、農業生産活動の維持や耕作放棄地の解消につなげます。

主な取組

【地域農業の持続・発展への取組】

- 日本型直接支払制度*を活用し、共同活動、中山間地域等での農業生産活動、自然環境の保全に資する農業生産活動による農業・農村の多面的機能の発揮に向けた取組みを着実に進めるとともに、中山間地域等直接支払制度を活用し、不利な生産条件の格差是正を図ります。

【集落ぐるみでの防護と捕獲の一体的推進】

- 侵入防止柵の整備とともに、集落自ら保守点検や環境整備ができるモデル的な集落づくりを進めます。
- 有害鳥獣の捕獲活動経費や捕獲機材の導入を支援するとともに、住民と駆除班の協働捕獲手法を確立します。

【担い手の育成】

- 捕獲の担い手、防護対策のリーダーを育成します。

IV-3 基本戦略別の個別施策

I 人を『育む』一次代を担う人材への投資一

1 農業の担い手育成及び確保

- アグリサイエンスゾーン*を核に、徳島大学や民間事業者等と連携し、ICT*を活用した高度環境制御技術を用いた次世代農業に取り組むとともに、6次産業化や農業経営力の強化に向けた講座の設置・充実を図るなど、次代の本県農業を担う経営感覚に優れた人材育成に取り組めます。
- 6次産業化専門学科「アグリビジネス科」を設置する城西高校をはじめとする県内専門高校・農業大学校・徳島大学へと連なるキャリアアップシステムの充実による実践力のある人材を育成します。
- 栽培から流通・販売まで一貫した技術を学ぶことができる「徳島かんきつアカデミー」において、次代を担うかんきつ人材の育成・確保を図ります。
- ㊦ 都市部や本県出身の農業系大学生、徳島大学生物資源産業学部*の学生、県内大学・高校生を、農業や食品関連産業等の現場へインターンシップとして受け入れ、本県農業への就農意欲の醸成を促進します。また、卒業生の雇用受皿となる、農業法人等の経営基盤の強化を支援します。
- ㊦ 就農希望者に対する情報提供や農業現場を体感できる見学ツアーを通じて本県農業の魅力を発信するとともに、農業法人等が実施する新規就農希望者の実践研修への支援を行います。
- ㊦ 篤農家*の持つ栽培技術と環境制御技術を組み合わせた栽培技術の導入により「もうかる経営」モデルを創出し、U I Jターンによる移住促進に取り組めます。
- 障がい者、アクティブシニア、外国人などの幅広い人材を活用した、労働力確保に向けたマッチングを推進します。
- 女性の視点を活かした新たなビジネスプランへのチャレンジを支援します。
また、スキルアップ研修や若手女性農業者フォーラムの開催などを通じて、次世代女性農業リーダーの育成を推進するとともに、農業関係団体等の役員への登用を通じ、女性の活躍を支援します。
- 本県の畜産を支える担い手に対し、飼育技術の向上や家畜人工授精の技術習得等を進め、地域をリードする中核的農家として育成します。
- 営農指導体制の強化による産地振興、大ロット化による有利販売、施設の共同利用による生産・流通コストの低減化など、1 J A化による地域農業の振興や農業の経営安定
- 小中学生への農業の魅力PRに取り組むことにより、未来の農業人材を発掘します。

2 林業の担い手育成及び確保

- 新規林業従事者の更なる参入を促すため、「とくしま林業アカデミー*」を核として育成するとともに、特に若手や女性の就業者の育成・確保においては、林業を志す学生の実習フィールドとなる「フォレストキャンパス*」の活用や女性向けの林業体験イベントを開催するなど担い手の確保や労働環境の改善などに取り組めます。
- 各種作業に必要な資格等の取得をはじめ、高度な伐採や作業道の開設技術、高性能林業機械*の操作、経営管理や安全管理など、ステップアップ方式による人材育成研修を実施し、「林業プロフェッショナル*」として高度な技術者を養成します。
- 森林組合の経営基盤を強化し、地元新卒者の雇用やVR等を活用した労働安全衛生の推進に加え、森林

IV-3 基本戦略別の個別施策

I 人を『育む』一次代を担う人材への投資一

1 農業の担い手育成及び確保

- アグリサイエンスゾーン*を核に、徳島大学や民間事業者等と連携し、ICT*を活用した高度環境制御技術を用いた次世代農業に取り組むとともに、6次産業化や農業経営力の強化に向けた講座の設置・充実を図るなど、次代の本県農業を担う経営感覚に優れた人材育成に取り組めます。
- 県内初の6次産業化専門学科「アグリビジネス科」が開設される城西高校をはじめとする県内専門高校・農業大学校・徳島大学へと連なるキャリアアップシステムの充実による実践力のある人材を育成します。
- ㊦ 都市部や本県出身の農業系大学生、徳島大学生物資源産業学部*の学生、県内大学・高校生を、農業や食品関連産業等の現場へインターンシップとして受け入れ、本県農業への理解の醸成及び就農を促進します。また、卒業生の雇用受皿となる、農業法人等の基盤強化を支援します。
- ㊦ 就農希望者に対する情報提供や農業現場を体感できる見学ツアーを通じて本県農業の魅力を発信するとともに、農業法人等が実施する新規就農希望者の実践研修への支援を行います。
- ㊦ 篤農家*の持つ栽培技術と環境制御技術を組み合わせた栽培技術の導入により「もうかる経営」モデルを創出し、U I Jターンによる移住促進に取り組めます。
- 障がい者や高齢者など幅広い人材を活用した労働力確保マッチングシステムの構築に取り組めます。
- 女性の視点をいかした新たなビジネスプランへのチャレンジを支援します。
また、農業関係団体役員等への女性登用を推進するとともに、スキルアップ研修や女性の活躍をアピールすることで、次世代女性農業リーダーを育成します。
- 本県の畜産を支える担い手に対し、飼育技術の向上や家畜人工授精の技術習得を進め、地域をリードする中核的農家として育成します。
- 営農指導体制の強化による産地振興、大ロット化による有利販売、施設の共同利用による生産・流通コストの低減化など、1 J A化による地域農業の振興や農業の経営安定に向けた取組みを支援します。
- 小中学生への農業の魅力PRに取り組むことにより、未来の農業人材を発掘します。

2 林業の担い手育成及び確保

- 新規林業従事者の更なる増加を進めるため、「とくしま林業アカデミー*」を拡充するとともに、特に若手や女性の就業者の育成・確保においては、林業を志す学生の実習フィールドとなる「フォレストキャンパス*」の増設、女性の林業体験イベントの開催や労働環境の改善などに取り組めます。
- 各種作業に必要な資格等の取得をはじめ、高度な伐採や作業道の開設技術、高性能林業機械*の操作、経営管理や安全管理など、ステップアップ方式による人材育成研修を実施し、「林業プロフェッショナル*」として総合的な人材の確保を推進します。
- 森林組合の経営基盤を強化し、地元新卒者の雇用や地域の労働安全衛生の推進に加え、事業地の集約化

施業に係る企画立案を行う「森林施業プランナー」の育成に取り組みます。また、森林管理経営法に基づく「意欲と能力のある林業経営者」を育成します。

- ⑨ フォレストサイエンスゾーン*に「林業資格研修」や「とくしま林業アカデミー*」、「木造建築学校*」などの人材育成部門を集約し、協定5者それぞれの強みを活かしながら、高度な技術と知識を備えた人材を育成します。

3 水産業の担い手育成及び確保

- 新規就業者の確保に向け、「とくしま漁業就業マッチングセンター*」において就業希望者と漁協とのマッチングを集中的に行うとともに、誰もが漁業を学ぶことができる「とくしま漁業アカデミー*」を核に、浜を支える担い手を育成します。
- 「浜の担い手育成支援事業*」を活用し、経営の不安定な就業初期の漁業者を支援します。
- 新規就業者からベテラン漁業者まで、全ての漁業者を対象に、漁業に携わる段階別に効果的なリカレント教育を実施し、次代の浜を担う人材育成に取り組みます。
- マリンサイエンスゾーン*の核となる水産研究課美波庁舎の「6次産業化研究室*」等を活用し、6次産業化に取り組む新たな人材の育成を推進します。
- 水産物の魅力発信や販売促進の核となる「浜っ娘★*」の育成など、女性や若手漁業者グループの活躍を推進します。
- 広域浜プラン*の策定や、漁協の合併等の主体的な取組みを支援し、将来にわたり組合員や地域社会に貢献できる活力ある漁協を育成します。

II 生産を『増やす』—市場ニーズや地域特性に応じた生産振興—

1 水田農業の振興

- 「需要に応じた米づくり」を推進するため、「水田フル活用ビジョン」に基づき、飼料用米や輸出用米、WCSなど新規需要米の作付拡大を図るとともに、野菜等園芸品目の新たな産地化を推進するなど、水田の有効活用を図ります。
- 主食用米における「売れる米づくり」を推進するため、高温耐性のある「あきさかり」の本格的導入を進め、栽培管理や品質向上技術の普及を図る一方、水稻経営の安定化に向け、多収品種の作付拡大による低コスト化を推進します。
- 県産米の輸出拡大に向け、香港やシンガポールなど東南アジアを中心とした「米のプロモーション」の展開などにより、更なる輸出促進を図るとともに、県内酒造業者との連携による酒米産地の育成や、地酒ブランド「阿波十割」の消費拡大を推進します。

2 園芸農業の振興

- 園芸産地の生産構造を改革し生産拡大を図るため、生産、流通、販売を一体的に支援する「地域商社・阿波ふうど*」の機能を最大限に活かし、市場の動きに応じた新たな産地づくりや「こだわり農産物」の

を図る「森の営業マン」の育成に取り組みます。

- ⑨ フォレストサイエンスゾーン*に「林業資格研修」や「とくしま林業アカデミー*」、「木造建築学校*」などの人材育成部門を集約し、協定5者それぞれの強みを活かしながら、高度な技術と知識を備えた人材を育成します。

3 水産業の担い手育成及び確保

- 新規就業者の確保に向け、「とくしま漁業就業マッチングセンター*」において就業希望者と漁協とのマッチングを集中的に行うとともに、誰もが漁業を学ぶことができる「とくしま漁業アカデミー*」の開講により、浜を支える新たな担い手を育成します。
- 「青年漁業者等就業支援事業*」を活用し、経営の不安定な就業初期の漁業者を支援します。
- 「漁業人材育成プログラム*」に基づき、漁業技術のみならず、的確な判断ができる経営能力を養成し、「自立できる若い漁業者」や「時代の潮流に対応できる経営感覚に優れた漁業者」の育成を図ることで、「開かれた漁業」への意識改革を促し、新たな人材の受入れにつなげていきます。
- マリンサイエンスゾーン*の核となる水産研究課美波庁舎の「6次産業化研究室*」等を活用し、6次産業化に取り組む新たな人材の育成を推進します。
- 水産物の魅力発信や販売促進の核となる「浜っ娘★*」の育成など女性の活躍を推進します。
- 広域浜プラン*の策定や、漁協の合併等の主体的な取組みを支援し、将来にわたり組合員や地域社会に貢献できる活力ある漁協を育成します。

II 生産を『増やす』—市場ニーズや地域特性に応じた生産振興—

1 水田農業の振興

- 平成30年以降の生産調整の見直しに向けて、「徳島コメ対策プラン*」を策定し、中長期的な水田活用のビジョンづくりと、その実践に向けて関係機関が一体となって、需要に応じた米作りを推進します。
- 水田をフル活用し、「経営所得安定対策*」を活用するとともに、養鶏を中心とした畜産農家との連携強化による飼料用米の地域内流通の拡大、多収品種の導入促進や低コスト生産の普及促進により、水田農業の経営安定を図ります。
- 水稻の新品種（高温耐性品種）の作付拡大に取り組み、品質の向上を図り、「売れる米づくり」を推進します。
- 県産米の需要拡大に向け、アジアを中心とした世界各国での「米のプロモーション」の展開などにより、輸出の推進を図るとともに、米・米粉の新たな用途開発や、県内酒造業者との連携強化による酒米産地の強化・育成、県産米の魅力発信に取り組みます。

2 園芸農業の振興

- 園芸産地の生産構造を改革し生産拡大を図るため、生産、流通、販売を一体的に支援する「地域商社・阿波ふうど*」の機能を最大限に活かし、市場の動きに応じた新たな産地づくりや「こだわり農産物」

販路拡大を進めるとともに、販売ロットの拡大、集出荷の効率化に取り組みます。

- 園芸品目の作付け面積拡大を図るため、「ブロッコリー」や「レタス」など秋冬野菜の作期の拡大による増産を推進するとともに、「えだまめ」、「オクラ」などの夏野菜について、新品種やトンネル栽培、マルチ栽培技術の導入による作柄の安定や品質向上により生産拡大・産地強化を進めます。

「スダチ」、「ハウレンソウ」、「ニンジン」、「ダイコン」など主要品目について産地が抱える課題を掘り下げ戦略的に解決するプログラムを策定し、競争力の高い産地づくりを進めます。

- 環境制御機器を導入した次世代型園芸施設を活用し、民間事業者、大学等と連携を図り、スマート農業の研究・実証を進め、次世代農業経営モデルの構築に取り組みます。

- 県南部海部地域で進められる「きゅうりタウン構想」を支援し、移住促進による農業人材の育成モデルを構築するとともに、次世代園芸ハウス等の導入を支援し、取組みの拡大と他の地域への展開を促進します。

3 畜産業の振興

- 「とくしま畜産成長戦略*」に基づき、経済のグローバル化に柔軟かつスピード感を持って対応し、経営への影響を最小限にとどめ、意欲ある生産者の体質強化を支援することで、次代へと繋がる「もうかる畜産業」の確立に取り組みます。

- 経営安定制度の加入・活用に加え、経営規模の拡大、畜産物の高品質化並びに輸出・6次産業化など、畜種ごとの特性に応じた経営の安定化を支援します。

- 畜産農家の生産性を向上し、安全・安心な県産畜産物を県内外にアピールするため、農場HACCP*の認証等取得に向けた取組みを支援します。

- 生産コストの低減を図るため、飼料用米等を利用した飼料自給率の向上を推進するとともに、優良系統受精卵の積極的な利用による高品質で生産性の高い「もと畜*」生産を支援します。

- 阿波とん豚*ブランド確立対策協議会等と連携し、阿波とん豚*の親豚供給体制の強化、一般豚からの経営転換の促進、流通システムを整備することにより、阿波とん豚*の生産拡大を推進します。

- 阿波尾鶏*ブランド確立対策協議会等と連携し、阿波尾鶏*の地鶏出荷羽数連続日本一を達成する取組みに向けて増産を促進します。

○ 「JGAP認証農場」、「とくしま育ち」、「高品質な枝肉」の要件を備えた新プレミアムブランド「とくしま三ツ星ビーフ」認定制度の認知度を向上し、世界に飛躍する生産・流通体制の強化に取り組みます。

○ 民間事業者、大学と連携し、産業動物でのアニマルウェルフェア（動物福祉）の向上と疾病低減、畜産の生産性向上のための取組みを促進します。

4 林業及び木材産業の振興

- 充実した森林資源を活用し「スマート林業プロジェクト*」により県産材を増産するため、主伐*にも対応した先進的な林業機械の導入を加速し、経営感覚に優れた林業事業者の育成を推進するとともに、意欲ある森林所有者には低投資で取り組みやすい「自伐型林業」を進めます。

- 主伐*及び主伐後の造林を着実に推進するため、通年植栽が可能な「コンテナ苗*」の生産や伐採・植林等の一体施業を推進することで、シカ食害対策や低コスト造林技術の確立と実用化に取り組みます。また、元気な高齢者で組織する「アクティブ・シニア植林隊」を結成し、森林サイクルの構築を図ります。

の販路拡大を進めるとともに、販売ロットの拡大、集出荷の効率化に取り組みます。

- 野菜の作付け面積拡大を図るため、「ブロッコリー」や「レタス」など秋冬野菜の作期の拡大による増産を推進するとともに、「えだまめ」、「スイートコーン」、「オクラ」などの夏野菜について、新品種やトンネル栽培技術の導入による作柄の安定により生産拡大を進めます。

○ 「すだち」や「ほうれんそう」など実需者のニーズに生産が応えきれない品目について、個別に課題を掘り下げ戦略的に解決するプログラムを策定し、競争力の高い産地づくりを進めます。

○ アグリサイエンスゾーン*において、連携パートナー（タキイ種苗(株)及びTファームいしい(株)）が運営する環境制御型園芸施設を利用し、次世代農業の研究・実証を進めるとともに、実践的な研修により担い手を育成し経営モデルの構築に取り組みます。

- 県南部海部地域で進められる「きゅうりタウン構想」を支援し、移住促進による農業人材の育成モデルを構築するとともに、次世代園芸ハウス等の導入を支援し、取組みの拡大と他の地域への展開を促進します。

3 畜産業の振興

- 「とくしま畜産成長戦略*」に基づき、経済のグローバル化に柔軟かつスピード感を持って対応し、経営への影響を最小限にとどめ、意欲ある生産者の体質強化を支援することで、次代へと繋がる「もうかる畜産業」の確立に取り組みます。

- 経営安定制度の加入・活用に加え、経営規模の拡大、畜産物の高品質化並びに輸出・6次産業化など、畜種ごとの特性に応じた経営の安定化を支援します。

- 畜産農家の生産性を向上し、安全・安心な県産畜産物を県内外にアピールするため、農場HACCP*の認証取得に向けた取組みを支援します。

- 生産コストの低減を図るため、飼料用米等を利用した飼料自給率の向上を推進するとともに、優良系統受精卵の積極的な利用による高品質で生産性の高い「もと畜*」生産を支援します。

- 阿波とん豚*ブランド確立対策協議会等と連携し、阿波とん豚*の親豚供給体制の強化、一般豚からの経営転換の促進、流通システムを整備することにより、阿波とん豚*の生産拡大を推進します。

- 阿波尾鶏*ブランド確立対策協議会等と連携し、阿波尾鶏*の出荷羽数「300万羽」に向けて増産を促進します。

4 林業及び木材産業の振興

- 充実した森林資源を活用し「新次元林業プロジェクト*」により県産材を増産するため、主伐*にも対応した先進的な林業機械の導入を加速し、経営感覚に優れた林業事業者の育成を推進するとともに、意欲ある森林所有者には低投資で取り組みやすい「自伐型林業」を進めます。

- 主伐*及び主伐後の造林を着実に推進するため、通年植栽が可能な「コンテナ苗*」の生産や伐採・植林等の一体施業を推進することで、シカ食害対策や低コスト造林技術の確立と実用化に取り組みます。

- 多様化する原木需要に対応する「サテライト工場*」の整備や、木材市場など地域の木材集積地の機能強化を図り、ボトルネックとなっている木材輸送を支援するなど、安定供給体制の強化や輸送コストの縮減を推進します。
- 県産材の更なる利用促進や新規用途への需要拡大を図るため、木材加工施設の大規模化や高性能化を支援するとともに、旺盛な木質バイオマス発電所*向け燃料用D材*の需要を支える施設整備を進め、県産材の「まるごと利用」を推進します。
- インターチェンジの設置により、陸海空の物流が繋がる徳島県（津田）木材団地を県産材の県外出荷・輸出を進めるための加工・流通拠点として整備します。
- 公共施設の木造・木質化をはじめ、型枠・杭など土木事業での利用、木質バイオマスのエネルギー利用や、店舗や非住宅など民間施設の木造化、木質化などあらゆる場面で、県産材の利用を進めます。
- 県産材の新商品や新たな用途の開発に取り組むため、「とくしま木づかい県民会議*」やフォレストサイエンスゾーン*において研究開発と一体となった県産材の利用を促進するとともに、全世代に対して「木育」を推進し、需要の拡大を図ります。

5 水産業の振興

- 「水産業の成長産業化の実感」を掲げ策定した「とくしま水産創生ビジョン（第2期）*」により、漁業者が未来に明るい希望を持てるよう、本県水産業の潜在的な可能性を最大限に引き出すとともに、「産学官連携による漁業振興拠点」として「種苗生産施設」の生産性向上や畜養拠点化等の機能強化を進め、「もうかる漁業」の実現に重点的に取り組みます。
- 資源管理型漁業やアワビ等の種苗放流を行う栽培漁業を推進し、水産物の安定生産を図るとともに、新品種の開発・導入等による藻類養殖産地の拡大・創出や、天然わかめの増産等を推進し、新たなブランド化に取り組みます。
- 藻類（鳴門わかめ、クロノリ）養殖の色落ち対策に重要な漁場の栄養塩濃度について、より迅速で正確な漁業者への情報発信体制を整備し、増産・品質向上につなげていきます。
- マリンサイエンスゾーン*において大学や民間企業等との連携強化により、6次産業化の取組みを促進するとともに、生産者と商工業者との連携による未利用漁業資源等の活用による新商品開発や販路開拓を支援します。
- 経験や勘を頼りに操業を行ってきた水産業について、IoTやAI等の革新技術の導入に取り組み、操業の効率化や省力化につながるスマート水産業を推進します。
- 魚介類の産卵場や保育場などの機能を有する藻場造成を推進し、水産資源の増大を図ります。

6 オープンイノベーションの加速

- ㊦ 農林水産3分野の「サイエンスゾーン*」を拠点として、大学、民間企業の参入を促すとともに、産学官連携の強化によるオープンイノベーションを加速し、新たな価値を創造する研究開発や地方創生につながる人材育成に取り組みます。
- ㊦ IoT、ビッグデータ、AIなどの先端技術を活用し、省力・高品質生産、増収につながるスマート技術や、地球温暖化をはじめ気候変動に対応する品種・技術の開発・実装を推進します。

- 多様化する原木需要に対応する「サテライト工場*」の整備や、木材市場など地域の木材集積地の機能強化を図り、安定供給体制の強化や輸送コストの縮減を推進します。
- 県産材の更なる利用促進や新規用途への需要拡大を図るため、木材加工施設の大規模化や高性能化を支援するとともに、旺盛な木質バイオマス発電所*向け燃料用D材*の需要を支える施設整備を進め、県産材の「まるごと利用」を推進します。
- インターチェンジの設置により、陸海空の物流が繋がる徳島県（津田）木材団地を県産材の県外出荷・輸出を進めるための加工・流通拠点として整備します。
- 公共施設の木造・木質化をはじめ、型枠・杭など土木事業での利用、木質バイオマスのエネルギー利用など、あらゆる場面で、県・市町村が率先して県産材の利用を進めます。
- 県産材の新商品や新たな用途の開発に取り組むため、「とくしま木づかい県民会議*」やフォレストサイエンスゾーン*において研究開発と一体となった県産材の利用を促進するとともに、子育て世代を中心に「木育」を推進し、需要の拡大を図ります。

5 水産業の振興

- 「水産業の明るい未来の創生」を掲げ策定した「とくしま水産創生ビジョン*」により、漁業者が未来に明るい希望を持てるよう、本県水産業の潜在的な可能性を最大限に引き出すとともに、「産学官連携による漁業振興拠点」として「種苗生産施設」の生産性向上や畜養拠点化等の機能強化を進め、「もうかる漁業」の実現に重点的に取り組みます。
- 資源管理型漁業やアワビ等の種苗放流を行う栽培漁業を推進し、水産物の安定生産を図るとともに、新品種の開発・導入等による藻類養殖産地の拡大・創出や、天然わかめの増産等、「海の野菜*増産戦略」を推進し、新たなブランド化に取り組みます。
- 藻類（鳴門わかめ、クロノリ）養殖の色落ち対策に重要な漁場の栄養塩濃度について、より迅速で正確な漁業者への情報発信体制を整備し、増産・品質向上につなげていきます。
- マリンサイエンスゾーン*における大学や民間企業等との連携強化により、6次産業化の取組みを促進するとともに、生産者と商工業者との連携による未利用漁業資源等の活用による新商品開発や販路開拓を支援します。
- 海藻の生育を早める効果を有する「アミノ酸入りコンクリートプレート*」を利用した、新たな漁場造成の取組みを推進します。

6 オープンイノベーションの加速

- ㊦ 農林水産3分野の「サイエンスゾーン*」を拠点として、大学、民間企業の参入を促すとともに、連携強化によるオープンイノベーションを加速し、新たな価値を創造する研究開発や地方創生につながる人材育成に取り組みます。
- ㊦ ロボット技術や人工知能・IoT技術等の先端技術を活用し、省力・高品質生産化、増収につながる技術や、県産農林水産物のブランド力の強化や地球温暖化をはじめ気候変動に対応する品種の開発を推進します。

- 藍、香酸カンキツなど県産農林水産物が有する機能性の解明や、加工技術、品質保持技術など、新たな価値の創出につながる技術開発を推進します。

○ 酪酸菌を活用した子豚の安定生産技術やアニマルウェルフェアに配慮した飼養管理技術の開発を推進します。

- 生産増が見込まれるスギ大径材を2×4工法部材として活用する技術やシイタケ菌を最適な条件で生長させる温度管理技術の開発などを推進します。
- アワビ稚貝の増産やイセエビの畜養技術、藻類やハタ類の陸上養殖技術、藻類養殖産地を拡大・創出する新品種の開発や、効率的な貝毒検査技術の開発などを推進します。

7 安全・安心な食料の安定的供給

- 生産基盤の適切な保安全管理等による優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、多様な消費者ニーズに対応した生産・供給体制の構築等を推進します。
- 県産農産物を求める食品産業事業者等と生産現場との連携を推進するとともに、幅広い世代に対する農林漁業体験の機会の提供により、消費拡大の前提となる食や農林水産業への県民理解の醸成を図ります。
- 有機物資源の循環利用による土づくりや、化学肥料・化学農薬の使用を低減する技術（IPM*（総合的病害虫・雑草管理））の普及や農業安全の推進を図り、人と環境に配慮した農業生産を推進します。
- 持続性の高い生産方式で栽培された農産物である「GAP農産物」、「有機農産物」、「エコ農産物」を「とくしまエシカル農産物」と位置付け、消費者への認知度向上と生産・販路の拡大を図ります。
- 持続可能性が高く、世界に求められる産地を目指し、国際水準GAPへのステップアップを支援するとともに、国際スポーツ大会や大阪・関西万博等、世界から外国人客が集まるイベントに、県産食材を提供することにより、エシカル農産物の海外での認知度向上を図ります。
- 農薬の適正使用を普及啓発するとともに、不適切な流通や保管を監視するため販売店等への指導を強化します。
- 家畜保健衛生所の機能強化により効率的な診断体制を整備し、産業動物獣医師の安定的確保に努めるとともに、高病原性鳥インフルエンザ、豚コレラ等の家畜伝染病の発生予防及びまん延防止に向けた危機管理体制の強化を図ります。

8 食育・地産地消の推進

- 徳島県食育推進計画*に基づき、食を大切に考え、食を通して豊かな人間性を育むため、各関係機関・団体・食育推進ボランティア等と連携を図りながら、食育推進リーダーを育成するとともに、その活動の場の提供に努め、県民運動として「食育の取組み」を推進します。
- 健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するため、一人一人が自分に合った食事量や栄養バランスを理解し、若い世代の健全な食生活の実践や子どもの頃から望ましい食習慣を身に付けるなど、ライフステージに応じて健康増進につながる食生活の実践力を養う取組を推進するとともに、食の安心・安全に関する正しい知識の習得や、エシカル消費*への理解を推進します。
- ◎ 農林水産業体験や地域の食文化・郷土料理の体験を促進するとともに、直売所等から学校・病院・福祉施設等への県産農産物の利用促進に取り組み、県民の農林水産業、地産地消などに対する理解や意識を高め、地域の活性化を図ります。

- アグリサイエンスゾーン*において、藍、れんこんなど県産農林水産物が有する機能性の解明や機能性に富む生産物の加工技術、品質保持技術の開発など、新たな価値の創出につながる技術の開発を推進します。

○ フォレストサイエンスゾーン*において、木材の不燃化技術*及び藍染め等の装飾による付加価値を向上させる技術や、木材新素材を活かした新分野での利用技術の開発などを推進します。

- マリンサイエンスゾーン*において、アワビ稚貝の増産やイセエビの畜養技術、藻類養殖産地を拡大・創出する新品種の開発、効率的な漁獲や資源増殖のためのLED水中灯の開発などを推進します。

7 安全・安心な食料の安定的供給

- 生産基盤の適切な保安全管理等による優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、多様な消費者ニーズに対応した生産・供給体制の構築等を推進します。
- 県産農産物を求める食品産業事業者等と生産現場との連携を推進するとともに、幅広い世代に対する農林漁業体験の機会の提供により、消費拡大の前提となる食や農林水産業への県民理解の醸成を図ります。
- 有機物資源の循環利用による土づくりや、化学肥料・化学農薬の使用を低減する技術（IPM*（総合的病害虫・雑草管理））の普及を図り、環境に配慮した農業生産を推進します。
- ◎ エコファーマー*や有機農業者をはじめ、環境に配慮した農業を実践する農業者の情報を発信し、PRする取組みを推進します。
- 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた「県産農産物の安全」「環境保全」「労働安全」につながる取組みとして、国際水準GAP、有機JASの「こだわり農産物」、農林水産省GAPガイドライン*に準拠している「とくしま安²GAP農産物*」認証取得を支援します。
- 農薬の適正使用を普及啓発するとともに、不適切な流通や保管を監視するため販売店等への指導を強化します。
- 家畜保健衛生所の機能強化により効率的な診断体制を整備し、産業動物獣医師の安定的確保に努めることで、家畜伝染病の発生予防及びまん延防止に向けた危機管理体制の強化を図ります。

8 食育・地産地消の推進

- 徳島県食育推進計画*に基づき、食を大切に考え、食を通して豊かな人間性を育むため、各関係機関・団体・食育推進ボランティア等と連携を図りながら、食育推進リーダーを育成するとともに、その活動の場の提供に努め、県民運動として「食育の取組み」を推進します。
- 健全な食生活実践を普及するため、「とくしま食事バランスガイド」や「野菜たっぷり料理レシピ」等を用いた啓発活動の実施、地産地消協力店等による食育・地産地消メニューの開発・普及等を通して、県産食材をPRし、エシカル消費*への理解や消費拡大につなげます。
- ◎ 農林水産業体験や地域の食文化・郷土料理の体験を促進するとともに、直売所等から学校・病院・福祉施設等への県産農産物の利用促進に取り組み、県民の農林水産業、地産地消などに対する理解や意識を高め、地域の活性化を図ります。

Ⅲ マーケットを『拓く』－需要拡大に向けた販売力強化－

1 挑戦するとくしまブランドの展開

○ 首都圏での情報発信の拠点「Turn Table」、生産から流通販売までを総合的に支援する「地域商社阿波ふうど」、機動力を活かした全国プロモーションを担う「PR車両」などの本県ならではの「強みと機能」を活かし、ターゲット市場（関西、首都圏、県内、海外）に応じた戦略的なアプローチと、課題解決型のアプローチにより、県産品のブランド力を着実に高め、もうかる農林水産業の実現に向けた各種施策を展開します。

○ 2台のPR車両（「新鮮 なっ！とくしま」号、「でり・ぱりキッチン阿波ふうど号」）の展開により、大都市圏を中心に県産食材をはじめ徳島の魅力をアピールするとともに、災害時には炊き出しや電源車として活用するなど「機動力」を活かした支援を行います。

○ 徳島の「食」の魅力や価値を伝えるブランドネーム「阿波ふうど」が全国で浸透するよう、イベント、SNS等による情報発信はもとより、観光誘客にも相乗効果が得られるよう、関連施策との連携を図ります。

○ 徳島が誇る豊かで高品質な食「阿波ふうど」の魅力と価値を強力に発信し、国内外から「食」を目当てに徳島へ訪れていただく、「阿波ふうど・ツーリズム」の実現に向けた取組みを推進します。

○ 畜産ブランドへの経営転換や基盤強化による生産力の向上、畜産物の高品質化並びに輸出・6次産業化など畜種ごとの特性に応じた経営の安定化を支援し、「阿波尾鶏*」をリーディングブランドとした阿波畜産ブランドの競争力強化に取り組みます。

○ 生産者、量販店や飲食店、観光関係者等と連携し、県内外の料理店等でハモ、鳴門わかめ等のブランド水産物のPR活動を展開します。

㊦ 観光誘客に繋がる「水産物直販・飲食施設」など、地域の交流拠点となる施設等の整備を促進します。

㊦ 小学校等において地元の魚を使った料理教室の開催や、学校給食への食材提供を推進するなど、漁業関係団体と連携して魚食普及を図ります。

○ 「徳島県鳴門わかめ認証制度の事業推進に関する指針*」に基づき、認証制度の普及・定着に向けた取組みを積極的に実施し、「鳴門わかめ」のブランド向上を図ります。

○ 東京オリンピック・パラリンピック施設や大阪・関西万博など国際イベントを視野に、国際基準である「COC認証*」の県内企業による取得を推進するとともに、首都圏における県産材展示施設を活用した売込みの強化や、原木や徳島らしい木材製品・住宅部材の輸出促進により、新たな販路を開拓します。

2 6次産業化の促進

○ 高品質な本県の農林水産物と、商工業者が有する高い「ものづくり技術」とを連携させ、地域の資源を活用した新たな商品開発や販路開拓を進めます。

Ⅲ マーケットを『拓く』－需要拡大に向けた販売力強化－

1 挑戦するとくしまブランドの展開

○ 「成長産業化による『もうかる農林水産業』の実現」に向けて、
・「地域商社阿波ふうど*」の活動強化

・「Turn Table（とくしまブランドギャラリー）*」の創設

・マーケットイン*の視点による生産体制の構築

・首都圏市場向け集出荷システムの構築

など、「トップブランドへの挑戦」、「産地構造改革への挑戦」、「東京一極集中への挑戦」、「サポート体制構築への挑戦」の4つの挑戦を目標に掲げ、各種施策を展開します。

㊦ 一次産品、加工食品、伝統工芸品まで対象とする「とくしま特選ブランド*」の拡大とともに、全国的なプレミアムブランドとして認知されるよう発信力を強化し、販売拡大に取り組みます。

○ 「新鮮 なっ！とくしま」号の課題を補填する新タイプのPR車両を導入・併用し、大都市圏を中心に県産食材をはじめ徳島の魅力をアピールするとともに、災害時には炊き出しや電源車として活用するなど「機動力」を活かした支援を行います。

○ 徳島の「食」の魅力や価値を伝えるブランドネーム「阿波ふうど」が全国で浸透するよう、イベント、SNS等による情報発信はもとより、観光誘客にも相乗効果が得られるよう、関連施策との連携を図ります。

○ 畜産ブランドへの経営転換や基盤強化による生産力の向上、畜産物の高品質化並びに輸出・6次産業化など畜種ごとの特性に応じた経営の安定化を支援し、「阿波尾鶏*」をリーディングブランドとした阿波畜産ブランドの競争力強化に取り組みます。

○ 生産者、量販店や飲食店、観光関係者等と連携し、県内外の料理店等でハモ、鳴門わかめ等のブランド水産物のPR活動を展開するとともに、アジアカエビなど新たな品目について新ブランドとして育成、販路開拓を推進します。

㊦ 観光誘客に繋がる「水産物直販・飲食施設」や「定置網の網揚げや養殖魚への餌やり体験ができる」など、地域の交流拠点となる施設の整備を促進します。

㊦ 小学校等において地元の魚を使った料理教室の開催や、学校給食への食材提供を推進するなど、漁業関係団体と連携して魚食普及を図ります。

○ 「徳島県鳴門わかめ認証制度の事業推進に関する指針*」に基づき、認証制度の普及・定着に向けた取組みを積極的に実施し、「鳴門わかめ」のブランド向上を図ります。

○ 東京オリンピック・パラリンピック施設での利用に向け、国際基準である「COC認証*」の県内企業による取得を推進するとともに、首都圏における県産材展示施設を活用した売込みの強化や、原木や徳島らしい木材製品・住宅部材の輸出促進により、新たな販路を開拓します。

2 6次産業化の促進

○ 高品質な本県の農林水産物と、商工業者が有する高い「ものづくり技術」とを連携させ、地域の資源を活用した新たな商品開発や販路開拓を進めます。

○ 農林水産3分野の「サイエンスゾーン*」を核とし、「徳島大学・生物資源産業学部*」をはじめとした大学、独自の商品開発やブランド認証を行う市町村など、県内産学官金の連携を強化するとともに、農林漁業者と商工業者等とのネットワークづくりや、藍をはじめとする徳島ならではの農林水産物を活用した商品開発、展示・商談会等により首都圏等への販路拡大を支援します。

○ 6次産業化サポートセンターによる活動支援、中食等における県産食材の活用を支援します。

○ 「6次産業化研究施設」を活用し、城西高校をはじめ、県内高校・農業大学校・大学との連携により、付加価値の高い加工品の開発を促進し、6次産業化人材の育成を加速します。

3 海外展開の促進

○ 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略*」に基づき、海外市場における本県産農林水産物等の競争力を高めるため、これまでの取組で構築した輸出ルートをより太い幹に育てる「販売ルートの強化」を図るとともに、相手国・地域のニーズを捉えたマーケティング活動を通じて「新たなマーケットの開拓」を進め、県内生産者と事業者の海外展開を支援します。

○ 意欲ある若手農林漁業者が取り組む海外展開を支援し、輸出に取り組む「新たなプレイヤーの発掘と育成」を図ります。

○ 「高い品質」を保ちつつ「より安く」運ぶ仕組みづくりなど、物流上の「技術的課題への対応」を進めるとともに、「産地間連携」の推進・強化による物流の安定化や「輸出型産地の育成」を進め、本県産農林水産物等のブランド力の向上を図ります。

○ 本県の農林水産物の生産者等と連携し、海外の消費者・バイヤー・レストランのオーナー等に対する効果的なPRを行うとともに、海外での情報収集・発信拠点となる「とくしまブランド海外協力店*」の登録数の拡大等を推進します。

○ 「とくしま三大香酸かんきつ」であるゆずやすだちについて、地理的表示保護制度*を活用した海外での効率的なプロモーションを展開します。

○ ハラル認証*取得事業者や商品・サービス数を増加させるとともに、東南アジアや中東等におけるムスリム市場*の販路拡大に取り組みます。

○ 台湾をはじめとする東アジアに向け、県産材製品と木造建築技術を合わせた本県の特長を活かす輸出システムを推進します。

IV 生産を『支える』—強靱な生産基盤の整備—

1 農業生産基盤の整備及び保全

○ 新鮮で高品質な「とくしまブランド」農産物の産地化や増産など、収益性の高い農業経営の実現に向け、国営総合農地防災事業及び関連事業を推進するとともに、農業用水のパイプライン化や排水路の整備等、地域の実情に応じたきめ細やかな生産基盤の整備を「農地中間管理機構」や「とくしまブランド推進機構」等と連携し推進します。

○ ICTを活用した水管理の省力化や、自動走行トラクター等が導入可能となる基盤整備を推進します。

○ 老朽化した農業水利施設について、機能診断結果に基づく適時適正な補修・補強を実施し、施設の長寿命化を図ります。

○ 整備された農業水利施設の機能を最大限に引き出し、農業者のニーズや新たな営農体系に適合するよう、これまでのストックマネジメント（長寿命化）の手法にリノベーション（性能向上、付加価値付与）の観点

○ 農林水産3分野の「サイエンスゾーン*」を核とし、「徳島大学・生物資源産業学部*」をはじめとした大学、独自の商品開発やブランド認証を行う市町村など、県内産学官金の連携を強化するとともに、農林漁業者と商工業者等とのネットワークづくりや、藍をはじめとする徳島ならではの農林水産物を活用した商品開発、展示・商談会等により首都圏等への販路拡大を支援します。

○ 地域の食文化や生産にこだわった6次化商品や健康維持・介護向け食品の開発を支援します。

○ 新たに整備する「6次産業化研究拠点（仮称）」を活用し、城西高校をはじめ、県内高校・農業大学校・大学との連携により、付加価値の高い加工品の開発を促進し、6次産業化人材の育成を加速します。

3 海外展開の促進

○ 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略*」に基づき、海外市場における本県産農林水産物等の競争力を高めるため、意欲ある生産者や事業者が継続して展開できる「販売ルートの強化」を図るとともに、相手国・地域のニーズを捉えたマーケティング活動を通じて「新たなマーケットの開拓」を進め、県内生産者と事業者の海外展開を支援します。

○ 意欲ある若手農林漁業者が取り組む海外展開を支援し、輸出に取り組む「新たなプレイヤーの発掘と育成」を図ります。

○ 「高い品質」を保ちつつ「より安く」運ぶ仕組みづくりなど、物流上の「技術的課題への対応」を進めるとともに、「産地間連携」の推進・強化による物流の安定化や本県産農林水産物等のブランド力の向上を図ります。

○ 本県の農林水産物の生産者等と連携し、海外の消費者・バイヤー・レストランのオーナー等に対する効果的なPRを行うとともに、海外での情報収集・発信拠点となる「とくしまブランド海外協力店*」の登録数の拡大等を推進します。

○ ゆず・なると金時について、地理的表示制度*の取得支援や、海外での効率的なプロモーションを展開します。

○ ハラル認証*取得事業者や商品・サービス数を増加させるとともに、東南アジアや中東等におけるムスリム市場*の販路拡大に取り組みます。

○ 台湾をはじめとする東アジアに向け、県産材製品と木造建築技術を合わせた本県の特長を活かす輸出システムを推進します。

IV 生産を『支える』—強靱な生産基盤の整備—

1 農業生産基盤の整備及び保全

○ 新鮮で高品質な「とくしまブランド」農産物の産地化や増産など、収益性の高い農業経営の実現に向け、国営総合農地防災事業及び関連事業を推進するとともに、農業用水のパイプライン化や排水路の整備等、地域の実情に応じたきめ細やかな生産基盤の整備を「農地中間管理機構」や「とくしまブランド推進機構」等と連携し推進します。

○ 老朽化した農業水利施設について、機能診断結果に基づく適時適正な補修・補強を実施し、施設の長寿命化を図ります。

○ 整備された農業水利施設の機能を最大限に引き出し、農業者のニーズや新たな営農体系に適合するよう、これまでのストックマネジメント（長寿命化）の手法にリノベーション（性能向上、付加価値付与）の観

加えた施設の整備を推進します。

- 農地利用の効率化や高度化を図るため、「農地中間管理機構*」を活用した担い手への農地集積を進めます。

2 林業生産基盤の整備及び保全

- 搬出間伐*や主伐*に対応した高性能林業機械*等の効率的な稼働を図るため、基幹となる林道に加え、林業専用道、森林作業道等を有効に組み合わせた効率的な林内路網*整備を推進します。
- 県産材の増産につながる森林整備の推進とともに、森林の適正な保全管理を図るため、林地台帳の所有者情報と併せ、航空レーザ測量データを用いた精度の高い森林資源情報の整備や、森林GIS*、ICTの活用促進等を通じて、森林境界の明確化を進めます。
- 水源のかん養や、土砂災害の防備など森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、保安林*の指定を進めるとともに、治山施設の整備を推進します。
- 「徳島県豊かな森林を守る条例*」に基づく第1種森林管理重点地域（とくしま県版保安林*）の指定を進め、無秩序な開発の防止など森林の適正な管理を推進します。
- 森林施業の受委託を促進し、効率的で持続的な森林経営を行うための「森林経営計画*」の策定を推進するとともに、公有林化等推進基金により、重要な森林を対象に、県有林化や市町村有林化等を推進します。

3 漁業生産基盤の整備及び保全

- 老朽化した漁港施設・海岸施設について、計画的に対策工事を進め、生産基盤の保全を図ります。
- ㊦ 共同利用施設等の整備や協業化・法人化の推進、機器等の省エネ・低コスト対策により、生産性・収益性の高い経営を推進します。
- 稚魚の育成場となる藻場*の造成や漂流・海底ゴミ等の回収・処理等の実施、浮魚礁の導入などにより、生産力の高い漁場づくりを推進します。
- 海水温の上昇など海域環境の変化や水産資源のライフサイクルを考慮した効率的・効果的な藻場*造成に取り組み、環境に配慮した漁場づくりを推進します。

4 南海トラフ・直下型地震への対応

- 「とくしまー0作戦」地震対策行動計画に基づき、海岸保全施設・漁港施設の調査・整備と、農業用ため池や農業水利施設等の整備・保全を計画的に実施します。
- 陸閘*（りっこう）等の閉鎖に係る操作人の負担軽減や時間短縮を図るため、陸閘等の常時閉鎖や統廃合を進めます。
- 被災すると下流の家屋等に影響を与える恐れのある農業用ため池について、「ため池一斉点検」や「耐震診断調査」の結果を踏まえ、必要となる対策をハード、ソフトの両面から推進します。
- 農林業経営の効率化のみならず、緊急輸送路を補完し、路線の複線化や集落の孤立化を防止する機能を併せ持つ農林道を計画的に整備することで、地域交通ネットワークの整備を促進します。
- 大災害の発生からの早期復旧・復興に役立つ、地籍調査*を推進します。
- 巨大地震による被災からの早期営農再開に向けて策定した「農業版BCP*」の実効性を向上させるとと

点を加えた施設の整備を推進します。

- 「農地中間管理機構*」を活用し、担い手への農地集積を進めるとともに、「耕作放棄地再生利用緊急対策」等を活用することにより、耕作放棄地*の解消に努めます。

2 林業生産基盤の整備及び保全

- 搬出間伐*や主伐*に対応した高性能林業機械*等の効率的な稼働を図るため、基幹となる林道に加え、林業専用道、森林作業道等を有効に組み合わせた複合的な林内路網*整備を推進します。
- 県産材の増産につながる森林整備の推進とともに、森林の適正な保全管理を図るため、林地台帳の所有者情報と併せ、精度の高い森林資源情報の整備や、森林GIS*、最新のICTの活用促進等を通じて、森林境界の明確化を進めます。
- 水源のかん養や、土砂災害の防備など森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、保安林*の指定を進めるとともに、治山施設の整備を推進します。
- 「徳島県豊かな森林を守る条例*」に基づく第1種森林管理重点地域（とくしま県版保安林*）の指定を進め、無秩序な開発の防止など森林の適正な管理を推進します。
- 森林施業の受委託を促進し、効率的で持続的な森林経営を行うための「森林経営計画*」の策定を推進するとともに、公有林化等推進基金により、重要な森林を対象に、県有林化や市町村有林化等を推進します。

3 漁業生産基盤の整備及び保全

- 老朽化した漁港施設・海岸施設について、計画的に対策工事を進め、生産基盤の保全を図ります。
- ㊦ 共同利用施設等の整備や協業化・法人化の推進、機器等の省エネ・低コスト対策により、生産性・収益性の高い経営を推進します。
- 稚魚の育成場となる藻場*の造成や掃海*の実施、浮魚礁の導入などにより、生産力の高い漁場づくりを推進します。
- 海水温の上昇など海域環境の変化や水産資源のライフサイクルを考慮した効率的・効果的な藻場*造成に取り組み、環境に配慮した漁場づくりを推進します。

4 南海トラフ・直下型地震への対応

- 「とくしまー0作戦」地震対策行動計画に基づき、海岸保全施設・漁港施設の調査・整備と、農業用ため池や農業水利施設等の整備・保全を計画的に実施します。
- 陸閘*（りっこう）等の閉鎖に係る操作人の負担軽減や時間短縮を図るため、陸閘等の常時閉鎖や統廃合を進めます。
- 被災すると地域に与える影響が大きい農業用ため池について、「ため池一斉点検」や「耐震診断調査」の結果を踏まえ、ハード対策の方針や優先度、水源確保など被災時のソフト対策を含めた総合的な計画を策定し、農業用ため池の防災・減災対策を推進します。
- 農林業経営の効率化のみならず、緊急輸送路を補完し、路線の複線化や集落の孤立化を防止する機能を併せ持つ農林道を計画的に整備することで、地域交通ネットワークの整備を促進します。
- 大災害の発生からの早期復旧・復興に役立つ、地籍調査*を推進します。
- 巨大地震による津波災害からの早期復旧と、円滑な営農再開に向けて策定した「農業版BCP*」の実効

もに、被災後の農業用水利施設の早期復旧に向けた「土地改良区BCP*」の策定を促進します。

○ 発災後の漁業の早期再開に向け、「漁協版BCP」の策定を推進します。

5 自然災害等への対応

○ 土砂災害、水害及び雪害等の自然災害から、農山漁村の人々の暮らしを守るため、防災施設の整備や危険箇所の日常点検等を推進し、ハード・ソフトの両面から計画的な防災・減災対策に取り組みます。

○ 被災すると下流の家屋等に影響を与える恐れのある農業用ため池について、緊急時の迅速な避難行動に繋げるための「ため池マップ」等の作成や必要に応じた堤体の改修等を推進します。

○ 地すべりによる土砂災害を未然に防止し、人家や農林地・農業用施設等を守るため、地すべり防止施設の整備や整備された施設の点検・保全に取り組みます。

○ 地域事情に精通し密接に関わっている住民や関係者を「山地防災ヘルパー*」として認定し、災害時の情報収集をより早く行う組織を構築・強化し、治山施設整備による「防災」対策と、日頃からの危険箇所点検や地域住民への啓発活動などを行う「減災」対策に取り組みます。

○ 高潮による被害の軽減を図るため、住民の円滑かつ迅速な避難に資する高潮浸水想定 区域図の作成や、破堤防止のための堤防補強など、ソフト・ハードの両面から高潮対策を推進します。

○ 風害や雪害等による倒木被害の未然防止を図るため、生活道路等ライフライン周辺の森林整備を推進します。

V 地域を『守る』—活力と魅力にあふれた農山漁村の創出—

1 多様な主体による協働活動と農林水産業への参画

○ 公共事業等の実施に当たっては、自然環境調査に基づく環境に配慮した事業計画を作成し、学識経験者を含む第三者委員会における検討・評価を経た後、事業を行います。

◎ 農林水産業の体験などを推進し、本県農業の魅力を広く発信し、農林水産業に対する理解を醸成します。

○ 地域住民とともに、環境学習として生きもの調査等を共同実施することにより、田んぼや農業用施設等の田園環境への理解を深めます。

○ 農山漁村の地域リーダーである「ふるさと水と土指導員*」の育成や活動の促進、企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー*」と「農山漁村の地域住民」との協働活動を促進することにより、農山漁村地域の保全・活性化を図ります。

○ 地域住民やボランティア団体などが実施する、海岸清掃美化活動などの協働活動を推進します。

○ 地域住民や自治会・PTA・NPOなどの多様な主体が参画した共同活動により、農地や農業用水などの地域資源を保全する活動や、農業用水路などの補修・更新による施設の長寿命化に取り組む地域の拡大を図ります。

○ 森林の重要性をPRするとともに、「とくしま森林づくり県民会議*」のもと、県民や企業、NPOなど県民総ぐるみによる森林づくりに取り組みます。

○ ボランティアや企業・県民と協働した森林づくり活動や、森林の二酸化炭素吸収量・二酸化炭素固定量を活かした排出量取引制度の導入を推進します。

性を向上させるとともに、直下型地震により土地改良施設が被災した場合にも対応できるよう、BCPを策定します。

5 自然災害等への対応

○ 土砂災害、水害その他の自然災害から、農山漁村の人々の暮らしを守るため、防災施設の整備や危険箇所の日常点検等を推進し、ハード・ソフトの両面から計画的な防災・減災対策に取り組みます。

○ 農業用ため池の被災による被害から、農山村に暮らす人々の生命や財産を守るため、「ため池一斉点検」などの結果を踏まえ策定した整備計画に基づき、防災上重要なため池や、老朽化の進行が著しいため池の整備を実施するとともに、地域住民の防災知識の普及や防災意識の高揚を図り、農業用ため池の被災による被害を最小限にとどめるため、ため池ハザードマップの策定を支援します。

○ 地すべりによる土砂災害を未然に防止し、人家や農林地・農業用施設等を守るため、地すべり防止施設の整備や整備された施設の点検・保全に取り組みます。

○ 地域事情に精通し密接に関わっている住民や関係者を「山地防災ヘルパー*」として認定し、災害時の情報収集をより早く行う組織を構築・強化し、治山施設整備による「防災」対策と、日頃からの危険箇所点検や地域住民への啓発活動などを行う「減災」対策に取り組みます。

V 地域を『守る』—活力と魅力にあふれた農山漁村の創出—

1 多様な主体による協働活動と農林水産業への参画

○ 公共事業等の実施に当たっては、自然環境調査に基づく環境に配慮した事業計画を作成し、学識経験者を含む第三者委員会における検討・評価を経た後、事業を行います。

◎ 農林水産業の体験などを推進し、本県農業の魅力を広く発信し、農林水産業に対する理解を醸成します。

○ 地域住民とともに、環境学習として生きもの調査等を共同実施することにより、田んぼや農業用施設等の田園環境への理解を深めます。

○ 農山漁村の地域リーダーである「ふるさと水と土指導員*」の育成や活動の促進、企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー*」と「農山漁村の地域住民」との協働活動を促進することにより、農山漁村地域の保全・活性化を図ります。

○ 地域住民やボランティア団体などが実施する、海岸清掃美化活動などの協働活動を推進します。

○ 地域住民や自治会・PTA・NPOなどの多様な主体が参画した共同活動により、農地や農業用水などの地域資源を保全する活動や、農業用水路などの補修・更新による施設の長寿命化に取り組む地域の拡大を図ります。

○ 「とくしま森林づくり県民会議*」のもと、県民や企業、NPOなど県民総ぐるみによる森林づくりに取り組みます。

○ ボランティアや企業・県民と協働した森林づくり活動や、森林による二酸化炭素吸収作用を活かした排出量取引制度の導入を推進します。

○ 本県の豊かな森林を活用し、森林体験や学習の場を創出します。

2 都市農村交流と移住・定住の促進

○ 農林漁家民宿に対して、体験メニューの充実や外国人観光客への対応力の向上、開業支援を行うことにより、受入体制を整備し、都市と農山漁村の交流の促進を図ります。

○ 地域の特色ある農林水産物、郷土食及び伝統文化などの地域資源を「観光コンテンツ」に磨き上げるとともに、広く情報発信等を行い、農泊などに取り組むことにより関係人口の拡大に取り組みます。

○ 四国4県で組織された「四国グリーン・ツーリズム推進協議会*」のキャンペーン等によるPRや、ホームページ等を活用し、本県の農山漁村の情報発信を行います。

◎ 農山漁村の地域資源を活用した住民主体の地域づくりや、地域の維持・活性化に取り組む集落を支援し、移住しやすい環境づくりに取り組みます。

○ 企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー*」と「農山漁村の地域住民」との協働活動を通じて交流の促進を図ります。

3 中山間地域等への支援

○ 「日本型直接支払制度*」を活用し、多面的機能*の維持・保全や耕作放棄地*の発生防止などの、集落ぐるみで地域農業を支える取組みを支援します。

○ 地域資源を活用した地域の活性化を図るため、「住民自ら」が作成する「将来ビジョン*」の作成から実践まで一体的な「パッケージ」として支援します。

○ 中山間地域総合整備事業*により、きめ細やかな生産基盤整備と生活環境基盤の整備を一体的に進めます。

○ 林道プラットフォーム「とくしま林道ナビ*」の情報量をさらに充実させ、多様化する利用者のニーズにワンストップで応えます。

4 鳥獣による被害の防止

○ 「第3期徳島県鳥獣被害防止対策基本方針*」に基づき、関係部局・機関・団体が連携し、「地域に侵入させない防護」、「野生鳥獣の捕獲」、「地域資源としての有効活用」、「狩猟の担い手確保」などの鳥獣被害対策を一体的に推進します。

○ 集落で取り組む防護・捕獲体制の強化や、侵入防止柵の整備と保守点検、追い払い・捕獲檻による捕獲などの総合的な対策を推進するとともに、獣種ごとに「対策プログラム」を策定し、普及を図ります。

○ ICT*を活用した野生鳥獣の出没情報システムにより、タイムリーな情報提供を行うことで、被害の防止につながります。

○ 本県の豊かな森林を活用し、森林体験や学習の場を創出します。

2 都市農村交流と移住・定住の促進

◎ 地域特産物の生産振興と同時に、農林漁家経営の複線化や移住者の仕事づくりにつなげるため、6次産業化や農林漁家民宿*及び体験受入れ農家等の開業を支援します。

○ 「食と農の景勝地*」及び「日本農業遺産*」認定を契機として、宿泊施設等におけるインバウンド対応力の向上を図るほか、訴求力のある体験メニューの開発や体験指導者（グリーンツーリズムインストラクター）の育成など、地域ぐるみで受入れ体制を整え「選ばれる農山漁村」を目指します。

○ 四国4県で組織された「四国グリーン・ツーリズム推進協議会*」のキャンペーン等によるPRや、情報発信サイトや既存メディアを有効活用し、本県の農山漁村の持つ魅力の国内外への発信力を強化します。

◎ 農山漁村の地域資源を活用した住民主体の地域づくりや、地域の維持・活性化に取り組む集落を支援し、移住しやすい環境づくりに取り組みます。

○ 企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー*」と「農山漁村の地域住民」との協働活動を通じて交流の促進を図ります。

3 中山間地域等への支援

○ 「日本型直接支払制度*」を活用し、多面的機能*の維持・保全や耕作放棄地*の発生防止などの、集落ぐるみで地域農業を支える取組みを支援します。

○ 地域資源を活用した地域の活性化を図るため、「住民自ら」が作成する「将来ビジョン*」の作成から実践まで一体的な「パッケージ」として支援します。

○ 中山間地域総合整備事業*により、きめ細やかな生産基盤整備と生活環境基盤の整備を一体的に進めます。

○ 林道プラットフォーム「とくしま林道ナビ*」の情報量をさらに充実させ、多様化する利用者のニーズにワンストップで応えます。

4 鳥獣による被害の防止

○ 「第3期徳島県鳥獣被害防止対策基本方針*」に基づき、「徳島県鳥獣被害防止センター*」を中心に、関係部局・機関・団体とが連携し、地域に侵入させない防護対策、野生鳥獣の捕獲対策、狩猟者・被害対策の担い手確保対策、地域資源としての有効活用対策などの鳥獣被害対策を推進します。

○ 市町村や猟友会等の関係団体との連携を図り、集落で取り組む防護・捕獲体制の強化や、地域が行う侵入防止柵の整備と保守点検、追い払い・捕獲檻による捕獲などの総合的な対策を推進します。

○ ICT*を活用した野生鳥獣の出没情報システムにより、タイムリーな情報提供を行うことで、被害の防止につながります。

○ 地域において、実践的な技術指導を担う人材を育成するとともに、被害防止活動を実践する市町村の「鳥獣被害防止実施隊*」の体制強化を進めます。

○ 鳥獣被害の軽減に向けた集落環境改善など、獣種ごとに「対策プログラム」を策定し、地域への普及を図ります。

- I o T 技術を活用した大型捕獲檻等、効果的な捕獲方法を県下に広め、被害の防止につなげます。
- 「狩猟」による捕獲に加え、市町村が実施する「有害鳥獣捕獲」や県が実施する「指定管理鳥獣捕獲等事業」などにより、年間を通じた捕獲圧の強化に努めるとともに、生息密度が高い剣山周辺における二ホンジカ対策や、市街地に出没するイノシシ対策を推進します。
- 新規狩猟者の育成・確保に加え、「とくしまハンティングスクール」を実施し、新規狩猟者が捕獲の担い手として定着できるよう支援します。
- 捕獲した野生鳥獣を有効活用し、徳島の新たな地域資源として育成するため、「阿波地美栄*」の衛生管理の強化、販路開拓、消費拡大等に取り組みます。
- シカの一時飼養施設の整備や、東部圏域における獣肉処理加工施設の整備などにより、ジビエの供給体制の強化を図ります。

5 地球環境の保全への貢献

- 農業用水を活用した小水力発電や、太陽光などの自然エネルギー導入支援に取り組み、農山漁村への導入を促進し、農山漁村地域の活性化を図ります。
- カーボンニュートラル*な木材等の特性を活かし、木くすなどの未利用資源を化石燃料の代替エネルギーとして活用を推進します。
- 本県の豊富な森林資源を守り育て、自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、間伐や造林など適正な森林整備を進め、森林による二酸化炭素吸収量の拡大を図り、健全で多様な森林整備を推進します。
- 水質浄化に資する藻場*の造成に取り組みます。
- 既存の使用済み農業用フィルムの適正処理体制について、安定的な組織運用を支援するとともに、農業者（排出者）への意識向上に係る啓発に努め、回収率100%を目指します。
- 耕種農家のニーズに即した堆肥の生産及び畜産農家の堆肥供給情報を提供することで堆肥の利用促進を図り、資源循環型農業の推進に寄与します。

6 地球温暖化への対応

- 高温耐性のある水稻品種「あきさかり」や、本県独自の気候変動対応型品種である、年内収量が多いイチゴ「阿波ほうべに」、レンコン早生品種「阿波白秀」、高い水温下でも生育良好な「高水温耐性ワカメ」の導入を推進するとともに、温暖化の影響を軽減する技術や、温暖化をメリットとして活かす観点から、熱帯果樹の省エネ・低コスト栽培技術の開発・実証など関係機関と連携し、気候変動に適応した新品種や新技術の開発・実証に取り組みます。
- 農業用排水施設やため池等を整備・保全し、干ばつや大雨からの農作物の被害軽減を図ります。
- 治山施設の整備を推進し、土砂災害による被害を軽減するとともに、森林管理を適正に行うため、公有林化や森林境界の明確化等を推進します。
- 漁港施設の嵩上げや粘り強い構造を持つ海岸保全施設の整備に取り組みます。

- サル対策として、群れの生息動向等の把握に努め、効果的な防護や捕獲に資するとともに、追い払いに効果のあるモンキードッグ*の計画的な導入を進めます。

- 「阿波地美栄*」を徳島の新たな地域資源として育成するため、安全・安心な獣肉の供給力の強化や、「阿波地美栄*」を取り扱う店舗の認定とPR、消費拡大、加工品の開発などに取り組みるとともに、ハラル対応などにより、インバウンドや観光客の誘客を促進します。

5 地球環境の保全への貢献

- 農業用水を活用した小水力発電や、太陽光などの自然エネルギー導入支援に取り組み、農山漁村への導入を促進し、農山漁村地域の活性化を図ります。
- カーボンニュートラル*な木材等の特性を活かし、木くすなどの未利用資源を化石燃料の代替エネルギーとして活用を推進します。
- 本県の豊富な森林資源を守り育て、自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、間伐や造林など適正な森林整備を進め、森林による二酸化炭素吸収量の拡大を図ります。
- 健全で多様な森林をつくるため、針広混交林*・複層林*への誘導、広葉樹林の整備を推進します。
- 水質浄化に資する藻場*の造成に取り組みます。
- 既存の使用済み農業用フィルムの適正処理体制について、安定的な組織運用を支援するとともに、農業者（排出者）への意識向上に係る啓発に努め、回収率100%を目指します。
- 耕種農家のニーズに即した堆肥の生産及び畜産農家の堆肥供給情報を提供することで堆肥の利用促進を図り、資源循環型農業の推進に寄与します。

6 地球温暖化への対応

- 高温耐性米品種「あきさかり」のブランド化や、価値の高い南方系果樹の導入実証に加え、徳島大学生物資源産業学部*など関係機関と連携し、高温環境に適応した新品種や新技術開発等に取り組みます。
- 高水温に強く、早い時期から収穫できるわかめなど新品種の導入促進や、水温等の環境要因による魚介類の生態と、資源の変動予測に取り組みます。
- 農業用排水施設やため池等を整備・保全し、干ばつや大雨からの農作物の被害軽減を図ります。
- 治山施設の整備を推進し、土砂災害による被害を最小限に抑えるとともに、森林管理を適正に行うため、公有林化や森林境界の明確化等を推進します。
- 漁港施設の嵩上げや粘り強い構造を持つ海岸保全施設の整備に取り組みます。